お知らせ

　愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（腎生検プレパラートなど）を使用します。
　この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（腎生検プレパラートなど）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】
標準化腎生検組織評価法の確立

【研究機関】
代表施設　大阪大学医学部附属病院　腎臓内科
分担施設　愛媛大学医学部附属病院　腎高血圧内科

【研究責任者】
三好　賢一（愛媛大学大学院　循環器・呼吸器・腎高血圧内科学　助教）

【研究代表者】
猪阪　善隆（大阪大学大学院医学系研究科　腎臓内科学　教授）

【研究の目的】
腎生検組織診断の均質化を目指し、より適切な腎疾患治療法の選択と腎予後の向上を図ります。

【研究の方法】
本研究では、腎生検組織評価方法の標準化を目指し、人工知能などを用いて当院で腎生検を受けられた方の腎生検組織プレパラートの再評価を行います。また、腎生検画像などから腎予後予測が可能であるか否かを検討します。
（対象となる患者さん）
2014 年 1 月から 2018 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院で腎生検を受けられた患者さん
（利用するカルテ情報）

性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況　など
（利用する試料）
通常の診療で使用した後に残った試料（腎生検プレパラート、腎生検画像など）

【共同研究について】
この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
　対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R、ハードディスクもしくは記憶媒体に保存した電子ファイルを郵送することによって大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】
　収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞
　大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科　助教　松井　功

　さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】
愛媛大学医学部附属病院　腎高血圧内科　三好賢一
791-0295　愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5303

研究代表施設
〒565-0871　大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号
大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科　松井　功
Tel: 06-6879-3857